

体育市民連帯 週刊ブリーフィング 2020年第8号

体育市民連帯コラム 2020.4.4

オリンピックサッカーのジレンマ... FIFAと IOC は何をためらうのか

オリンピックにサッカー種目が含まれたのは1900年第2回フランス・パリオリンピックである。 アマチュアリズムを強調しプロ選手の出場を禁止させたが、競技の水準と人気・フェーズが離れていった。 1930年にワールドカップが開催されてからは権威と規模、人気などで格差が大きく広がり始めた。

オリンピック精神に立脚した側面ではワールドカップとの差別性を維持する必要があるが、サッカーが 中継権料や広告など商業的価値の面で非常に高い割合を占める種目であることを無視することができなか った。オリンピックは何回かにかけて選手の参加資格を下記のように変更してきた。

1984年 ワールドカップ出場経験がない選手に限りプロの出場許容

1992 年 満23歳以下のプロ選手の出場許容

1996年 ワイルドカード制度を新設し23歳以上の3人まで出場許容

これにより、オリンピック種目の中で唯一年齢制限がある種目というレッテルが付くようになった。多く の議論を無難に収めたようだったが、今回の2020東京オリンピックはケースが少し違う。

新型コロナウイルス(コロナ 19)の拡散でオリンピックが来年に延びて、全世界的にオリンピック出場権 を獲得しても23歳以下の出場規定に触れて本大会の舞台に立つことができない選手が大挙続出したため である。

韓国をはじめとしてオーストラリア、日本など多くの国で、1997年生まれの選手たちの出場を保証しなけ ればいけないという声が出た。コロナ 19 と呼ばれる特殊な状況という点と、先鞭をつけた選手が出場で きなかったら公正の問題が発生するからである。

大韓サッカー協会と大韓体育会は26日、IOCと国際サッカー連盟(FIFA)に「オリンピック出場のため に予選を終えて準備してきた選手がコロナ19という不可抗力的な事由で大会が延期され、本選に参加す ることができないのは不公平である」と五輪参加の権利の保護を主張する手紙を送った。オーストラリ ア、日本など各国のオリンピック委員会とサッカー協会も、IOCと FIFA が議論して来年の東京オリンピ ックに 1997 年生まれが出場するための例外規定を設けるべき、という内容の立場を発表した。

大韓サッカー協会、	7
八科リツカー励云、	/

オリンピック出場のために予選を終えて準備してきた選手がコロナ 19 と

いう不可抗力的な事由で大会が延期され、本戦に参加することができない 大韓体育会

(3月26日) のは不公平である。

オリンピック男子サッカーはもともと 23 歳以下代表が出場する大会だが オーストラリア

FIFAと議論を通じて、東京オリンピックは24歳以下の大会になるように サッカー協会

(3月25日) 調整する必要がある。

東京オリンピック・ 他の種目では年齢制限のようなものはない。サッカーだけ 23 歳以下に制

パラリンピック 限することは、見方によれば利己的なことである。24歳以下であろう

組織委員会会長 と、25歳以下であろうと関係があってはならない。

(3月28日)

これにトーマスバッハ (IOC 委員長) は 28 日、「すでに東京オリンピック出場を確定した選手たちが資格を維持することは明らかである」とし「日本と協議して、2020 東京オリンピックを第 32 回オリンピックとして維持すると決定した」という立場を明らかにした。

これにより IOC がオリンピック種目の中で唯一年齢制限がある男子サッカーも例外を適用して 24歳の選手を出場させるか、そして FIFA との意見一致を引き出せるか、が最後の課題として残された。

今年 23 歳のオリンピックサッカー代表チームの選手たちが自力で獲得した出場権が来年 24 歳になっても保証されるべきというのが私たちの明確な立場であり、IOC と日本はオリンピックの延期に伴う問題に見知思義 (訳注:利を見ては義を思う、利益を前にしても正義を考える)の態度で、すぐ目の前の利益より大義を考えることを望む。

01 スポタルコリア 2020.3.29

【JOC 会長 FIFA 批判、"オリンピックサッカー年齢制限、他の種目にはない"】

「オリンピックは元来、最高の選手たちが集まって試合するべきなのにサッカーは違う」

日本の「デイリースポーツ」は 28 日、「森喜朗東京オリンピック・パラリンピック組織委員会 (JOC) 会長が男子サッカーの年齢制限は種目が奇妙なことだと主張した」と報道した。

東京オリンピックの延期が決定されてしばらくの間、大きな騒ぎは終わったが、いくつかの問題が出てきている。延期による追加費用の負担から1年が過ぎて出場権を得た選手たちの待遇問題まで議論されている。

特に本格的に出ている問題はサッカーの年齢制限の問題だ。オリンピック種目の中で唯一年齢制限(23歳以下)があるので、1年延期によりそれぞれの国の代表メンバーががらりと変わらざるを得ない。

去る 2020 アジアサッカー連盟 (AFC) チャンピオンシップで優勝した金ハクボムチームの主軸である 97 年生まれが大拳オリンピックに参加できない状況になること。

特に韓国の場合、兵役問題までかかっていて、さらに鋭敏になる状況である。大韓サッカー協会(KFA)は国際サッカー連盟(FIFA)に正式に異議を提起した。

オリンピックサッカーの年齢制限は国際オリンピック委員会(IOC)と FIFA の泥争いで導入された制度だ。過去に FIFA は 1988 年ソウル五輪サッカーから U23 歳以下の導入を推進したが IOC の反発で失敗した。

結局、IOCが押されて1992年バルセロナ五輪からU-23が導入された。しかし、バルセロナ五輪でのサッカーの興行が不振となるや、妥協案として3枚のワイルドカードが生じた。

最近コロナ陽性確定判定を受けた田嶋幸三日本サッカー協会(JFA)会長は、「U-23年齢制限の問題を解決するには難しさがある」とオリンピックの延期に反対した。

森会長は日本の放送で年齢制限の議論についてサッカーは奇妙だと線を引いた。彼は「オリンピックは元来、最高の選手が集まって試合しなければならない。しかし、サッカーは違う」と指摘した。続いて「サッカーは五輪よりもワールドカップに比重を置いている。FIFA はサッカーが五輪に出なくても良いと言った。他の種目に年齢制限はない。23歳ではなく24歳、25歳が出て構わないだろう」と叱責した

*出典::https://www.sportalkorea.com/general/view.php?gisa_uniq=202003290731771389

02 東亜日報 2020.4.1

【IOC"男子サッカー1997年生まれ"東京オリンピック出場の可能性を示唆】



IOC が東京オリンピック男子サッカー競技の年齢制限解除の可能性を示唆した。

 $\mathbb{C}News1$

東京オリンピックが 2021 年 7 月に 1 年延期され、年齢制限のある男子サッカー種目が注目を集めている中、国際オリンピック委員会(IOC)が 1997 年生まれの出場の可能性を示唆した。

大韓体育会の関係者は31日、「IOCが27日、各国オリンピック委員会(NOC)とビデオ会議をした」としながら「来年に延期された東京オリンピックのスケジュールをはじめ、各種目別で問題となっている事案を議論した」と発表した。

関係者は、「すでにオリンピック出場権を獲得した彼らの資格をそのまま認めなければならないという既存の原則を再確認した」とし「当然、年齢制限のあるサッカー種目の話が交わされた」と明らかにした。 オリンピック男子サッカーは出場選手の年齢が 23 歳以下に制限されている。本番のときは年齢制限のないワイルドカード 3 人を含むことができるが、チームの主軸は 23 歳以下の選手たちだ。

この規定のための議論が起きている。東京オリンピックが 2021 年に延期されることによって、現在の基準では予選を通過したときに中心的な役割をしていた 1997 年生まれの選手たちは出場資格を失うことになる。

全世界的に不当だとの反応が多い中、大韓サッカー協会(KFA)は26日、アジアサッカー連盟(AFC)に公式文書を送って「オリンピック出場のために予選を終えて準備してきた選手がコロナ19という不可抗力的な事由で大会が延期されて本選に参加することができないのは不公平だ」と権利保護を主張した。その手紙は、FIFAとIOCにも伝達された。

体育会も重ねて意思を表明した。体育会の関係者は「避けられない状況で大会が延期されたのだから、サッカー種目の選手たちに不利益が及んだらいけないという立場を重ねて伝えた。関連して IOC も "FIFA と協議を経なければならない事だが、24歳になった選手たちも大会に出場することが正しいと考えている"という意思を明らかにした」との内容を紹介した。

続けて「1年延期されたが、だからと言って 2021 オリンピックではない。すべてが 2020 オリンピック」だとし「他の種目も出場権をそのまま認めるので、サッカーも出場権を取った 1997 年生まれの出場が可能だというのが IOC の考え」とサッカーも道理に従って解決していく雰囲気だとした。

*出典: http://www.donga.com/news/article/all/20200401/100440495/1

03 アジアトゥデイ 2020.4.1 【 体育会、東京オリンピックの目標値をリセット 】



イ・ギフン大韓体育会長/連合

大韓体育会が新型コロナウイルス感染症(コロナ 19)の影響で来年に延期された 2020 東京オリンピックの目標値を再設定する。

体育会は種目別の国際連盟(IF)が国際オリンピック委員会(IOC)との協議で、3週間以内にオリンピック出場権予選日程を確定して国家代表選手が忠清北道鎮川代表選手村に再入村したら訓練計画とメダル目標値などを再調整する。現在、オリンピックの延期発表後、鎮川選手村は「休村」になり、選手たちと指導者たちは3月26?27日の二日にわたって選手村からしばらく出て自宅や所属チームで休息と訓練を並行している。

体育会は、コロナ 19 で選手村に足止めされ不透明なオリンピック日程のせいで少なくないストレスを受けた選手が、3 週間の休息と再入村のための 2 週間の自宅隔離手順を終え、再び村に来れば新しい気持ちで東京オリンピックを準備であろうと期待する。体育会は「オリンピック準備の全体計画はオリンピック出場権予選日程が出れば立てることができる」とし「体育会は選手たちの再入村後に指導者懇談会を開き、種目別トレーニングスケジュールをまとめる予定」と伝えた。

東京オリンピックのメダル目標値は1年延期で少し変わる可能性がある。体育会は今年東京オリンピックが開かれた場合は金10個を獲得、総合10位以内に入るという「10-10」を目標に掲げた。金メダルの戦略種目は世界的な実力を誇るアーチェリー、フェンシング、テコンドー、女子ゴルフ、柔道、射撃などである。野球、サッカー、男子体操、女子バレーボールもメダルの期待種目である。体育会は、コロナ19事態の鎮静推移とオリンピック予選のスケジュール、各種目のキャンプ訓練日程などを総合的に検討し、今年と来年の国家代表サポート予算案策定にも着手した。

体育会側は「ベテラン選手が来年まで今の技量を維持できるのか、彼らの代わりになる若い選手がどれだ け成長するかに応じてメダルの目標が決まる」とし「オリンピックの延期という初の事態を各種目の選手 がどのように乗り越えるかが重要だ」と見通した。

*出典: http://www.asiatoday.co.kr/view.php?key=20200401010000357

04 【 スポーツ界あれこれ 】

ソウル市体育会

最近、ソウル市体育会はコロナ 19 国家災難状況に応じて危機に直面した会員団体に緊急災害支援金を交付しようと、第 24 回ソウル市体育会理事会を書面決議で進行した。

国民体育振興公団

創立 31 周年を迎えた国民体育振興公団(KSPO)は国民健康 100 歳時代を目指し、今年 1 兆 3000 億ウォンを支援する計画。

国民誰もが均等なスポーツ活動の機会を享受できるように、全国 258 ヶ所に追加で国民体育センターの建設を推進。

経済的に困難または疎外された青少年の健全な余暇生活のために 1301 億ウォン規模のスポーツ講座利用券支援。

微細ホコリ(訳注: PM2.5)のような劣悪な気象環境の中でも室内で安心してスポーツができるように、仮想現実スポーツ室の事業運営。昨年まで小学校 252 校に普及しており、2032 年までに全小学校の 10% である 600 余校に仮想現実スポーツ室を拡大普及する計画。

文化体育観光部、国民体育振興公団

コロナ 19 により体育活動が難しくなった国民のために「ジプコク運動(訳注:家閉じこもりスポーツ)」 によって、みんなの健康を一緒に守ろう」という標語の下でキャンペーン実施。

毎週体力認証センターの運動トレーナーが映像を通じて室内でできる簡単な運動を紹介し、梁鶴善(訳注:2012 ロンドンオリンピックで韓国初の体操金メダリスト、跳馬種目)、シン・スジ(訳注:前新体操国家代表、現プロボウラー)などの国家代表選手が私たちに馴染みの国民体操を直接試演した映像も提供する予定。

(訳注:国民体操は NHK ラジオ体操に似ているが、様々なバージョンがある)





Youtube より 国家代表と共に コロナ 19 に勝とう! 国民体操!

梁鶴姜

シン・スジ (中央)

https://www.youtube.com/watch?v=4TamMzzDOAQ&feature=youtu.be

INFOMATION

Tel: 02-2279-8999, E-mail: sports-cm@hanmail.net

ホームページ: http://www.sportscm.org/

日本語訳:佐藤好行 新日本スポーツ連盟 国際活動局 韓国担当 jr1fep@gmail.com